

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや  
ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 名古屋東急ホテル  
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
会長 三好 親  
幹事 伊藤 健文  
広報・会報委員長 吉田 玄

No. 18

地域を育み、大陸をつなぐ

BUILDING COMMUNITIES  
BRIDGING CONTINENTS

2010~2011年度 RI会長 レイ・クリンギンスミス

今日の例会

第1342回 平成22年12月7日(火)  
講演 “変化する鉄道の話”  
東海旅客鉄道(株)代表取締役副会長 松本正之様

先週の例会

第1341回 平成22年11月30日(火)晴  
友愛の日

◆我等の生業

◆出席報告

会員 43(36)名 出席 32名  
出席率 88.89%  
前々回 11/9(修正出席率)97.22%

◆12月会員誕生日

宮尾紘司君(12/10) 渡邊源市君(12/20)  
樫尾富二君(12/21)

伊藤幹事報告

- 1) 本日例会終了後、理事役員会を開催致しますので、理事役員の方は4階桐の間にお集まり下さい。
- 2) ロータリーの友12月号が来ておりますので、お帰りにお持ち下さい。

三好会長挨拶

小鳥

「聞きなし」とは鳥の囀りを人間の言葉に置き換えたものの事です。先立ってチェロの天野武子さんのお話の中に出てきました。ミソザザイという小鳥は尻毛をピクピクさせてチチチチ!!と囀り、地鳴きはチャッチャッ!地鳴きとは警戒や威嚇、子供を呼ぶ時の泣き声。囀りとは縄張り主張したり、雌を引き寄せたり特に繁殖期の雄が発する声。

皆さんが良く知っている代表的な聞きなしは

ウグイスの「法、法華経」

○ホトトギス「特許許可局」

メジロ「長兵衛忠兵衛長忠兵衛」

ヒバリ「日一分、日一分利取る」

クロツグミ「オイオイ手打て、五両五両、手打て」

猛きん類 ○サンバ「キッスミー天気エー天気エー」

ウズラ「アジャパー」

ウミネコ「ニャーニャー」

◎ユジュケイ「ピィピュクワイ!ピッピュクワイ!」  
(ウズラより一回り大きい)

◎キビタキ「ちょっと来い!ちょっと来い!」  
(黄色と白の可愛い小鳥)

名前になった例 シジュウカラ「ツーツーピー」これを地鳴きシーシーガラ!シーシーガラ!アオジ「消費税1円、ツリツリツリ」

ここで一句

※むずかしや どれが四十雀、五十雀 一小林一茶



※鳴かぬならそれでいいじゃんホトトギス—織田信成  
※時鳥扇半ばに出かねたり 一夏目漱石

昔(江戸時代)トイレの中でホトトギスの声を聞くと不吉

托卵する側

ホトトギス  
カッコー

托卵される側

ウグイス、ミソザザイ  
モズ、ホオジロ

◆鈴木国際奉仕委員会財団担当より寄付のお願い  
皆様ご存知の通りですが、少し財団の内容が変わってきておりますので、このロータリー財団月間(11月)に合せて、ご説明させていただきます。

補助金制度が大きく変わり「新地区補助金」と「グローバル補助金」の2つです。グローバル補助金のプロジェクトは大規模で長期に亘り持続性のある成果が求められます。一方、新地区補助金は地区財団活動資金(DDF)の50%以下を使って地区の裁量で自由に、人道的、教育的プロジェクトを実施することができます。

本年度は東山動物園のスピーカーシステムを導入するプロジェクトに参加しました。

今後も新地区補助金を利用するプロジェクトを提案していくことになると思います。この寄付金でプロジェクトの成果ならびに補助金額が大きく左右されますので「毎年あなたも100ドルを」に会員全員の皆様のご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

## 地区大会報告

大会第1日目 2010年11月20日(土)  
大会第2日目 2010年11月21日(日)  
会場 ウェスティンナゴヤキャッスル  
ホストクラブ あまロータリークラブ

第二日目午前の部報告 萩原喜代子さん

テーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」のもと RI 会長代理ご夫妻 豊島徳三・喜世子夫人ご入場を出席者全員が拍手でお迎えし 10時 田島好博ガバナーの点鐘で開会致しました。

RI 会長代理ご夫妻の紹介、特別出席者の紹介、出席クラブの紹介 登録数2649名の多数参加は ロータリアンの友情の賜物と ホストクラブ あまロータリークラブ会長 岩島裕芳氏のご挨拶がありました。

その後 豊島 RI 会長代理により RI 会長のメッセージおよび伝達がございました。お話しの中で クリギンミス RI 会長が今年度の国際ロータリーのテーマとして「地域を育み、大陸をつなぐ」という壮大な提唱をかかげられた心の中には ご自身が1961年 奨学生としてケープタウンに滞在し 地元の人々と生活を共にし学んだ経験からうまれたのではないかと思います。とお話しされました。

そして ご来賓の愛知県知事 神田真秋氏、名古屋市市長 河村たかし氏のご祝辞があり

主催者側からの目録贈呈 両氏からは感謝状が贈られました。

また 各分野で活躍されたロータリークラブに表彰状が贈られ 午前の部が終了致しました。

第二日目午前の部報告 渡邊 源市君

三好会長、伊藤幹事、和田正敏 SAA、鈴木理之クラブ奉仕委員長はじめ多数の会員が出席。大きな拍手の中、RI 会長代理夫妻、豊島徳三・喜世子夫人が入場、名古屋おもてなし武将隊演舞の後、田嶋好博ガバナーの点鐘で幕を開けました。

黒野晃太郎大会実行委員長(あま RC)の開会挨拶、田嶋ガバナー挨拶、RI 会長メッセージ(豊島 RI 会長代理)、当該クラブの表彰、大会決議報告と続き、次年度ガバナー松前憲典ガバナーエレクト、次年度ホストクラブ(瑞穂 RC)の紹介、挨拶で午前の部を終了しました。

途中、出席クラブ(2400名余)に続いて VTT、財団奨学生、米山奨学生、インターアクトクラブ、ローターアクトクラブなどの紹介、愛知県(神田知事)および名古屋市(河村市長)への青少年育成寄付贈呈(各100万円)などが行われ、盛会のうちに終了しました。

第二日目午後の部報告 池森 由幸君

午後は混声合唱のコール・ロータリーの素晴らしい合唱で始まりました。この合唱団は、名古屋「愛・地球博」のロータリー館建設チャリティーコンサートの為に、名古屋 RC の呼びかけに応じた20数クラブのロータリアンとその家族で構成されたコール・ロータリー-EXPO が前身の合唱団です。その後、記念講演として、経済ジャーナリストの財部誠一氏が「日本経済復活のキーワード“グローバルセンス”」と題してお話し下さいました。財部氏はテレビ朝日のサンデープロジェクトで、長年、綿密な取材を通して、世界各地の出来事をレポートされてきました。その経験から言える「日本の復活の鍵」は、グローバルな(世界的な)見地に立った経営センスのみが今後の企業経営の運命を決するであろうと言うものでした。一例として、パナソニックを引き合いに出してお

話されました。パナソニックは、過去にはインドでの販売展開をあまり積極的には行っていませんでした。それは、インド市場を理解して本国に上申してくる現地駐在員の意見を、本部の製造部門が評価していなかったことに起因し、今まで培った「パナソニックが考える世界向け仕様」で充分であるとの見解であり、その結果、インドでは全く売りに貢献していなかったようです。それが、新しい執行役員が現地駐在員の声を吸い上げて、現地仕様の製品を展開するようになってからは、サムスンを凌ぐ勢いになっているという事例を出して、海外進出する際には、現地に溶け込む努力が必要で、日本のメーカーも初期にはそのような血の滲むような努力をしていたにも関わらず、近年、世界的な評価を受けたのに甘んじて、その努力が足りなくなっていたと、指摘されていました。また、化粧品メーカーのファンケルはもとも海外市場を考えていなかったが、ある時、香港の財閥のお嬢様が日本観光され、その時に自然素材の化粧品であると言うことに惹かれて自分自身で試し、その使用経験から、香港でも売れるとの確信に至り、専属契約を結んで大々的に売り出したそうです。ファンケルはその当時も今も、日本国内の販促展開では、「良い製品は地味な販促促進でもその内消費者は理解してくれる」、とのコンセプトでしたが、この香港子会社では大々的なイメージ戦略でチャンネルに匹敵するブランドイメージを短期間に作り上げ、北京オリンピックの公式サポート企業にまで上り詰めるような売り上げも達成し、本社の売り上げの凌ぐ勢いにまで達してしまっただけを紹介されておりました。日本の武器は、過去も、未来も、「信頼度の高い技術である」、との信念を持って事に臨まなければならないが、反面、海外を相手にする場合には、現地に溶け込んだ現地仕様のきめ細かく対応する必要も合わせて重要であると繰り返し仰っていました。ロータリーのセンスが、グローバルな企業の経営センスに奇しくも繋がるので、未来は明るいとのことでした。

### ◆11月理事役員会議事録

- 1) ライラセミナー(2月26・27日)参加への件。  
受講生推薦 会員加藤重雄君の会社職員2名に  
参加頂く 承認
- 2) 社会奉仕委員会(年末警戒慰問金・募金先)の件。  
年末警戒慰問金 千種警察・消防へ各3万円  
12月6日(月)会長・幹事・社会奉仕委員長  
年末歳末募金(12月14日)  
寄付先=前年度同様中日新聞社 承認
- 3) 例会場(名古屋東急ホテル)年末謝礼の件。  
昨年同様、例会場にて3万円をお渡しする。承認
- 4) 黒野貞夫君の件。  
手紙提出後、お返事が無く、退会手続きをする  
(前年度会費未収は今年度雑損失にて処理)承認
- 5) 地区協議会(2012年)開催ホストクラブの件。
- 6) 親睦委員会活動の件。  
年末家族会 12月14日(火)18:00  
名古屋東急ホテル 3F ルネッサンス  
現在参加数 会員 32名 家族54名
- 7) 東名古屋分区 IM 全員参加の件。  
2011年2月9日(水)=2月8日(火)の例会  
を変更し、全員登録  
登録料(@15,000)は下半期会費請求時に徴収する。

◆ニコボックスは次回掲載させていただきます。

次回例会 平成22年12月14日(火)  
年末会員家族懇親会

3階 ルネッサンスの間  
午後6時